

2012年10月15日
株式会社日立製作所

複雑化する IT システムの運用を自動化し、運用管理負担を軽減する 統合システム運用管理「JP1 Version 10」を発売

同時に「JP1」の技術、ノウハウを応用した「JP1 サービス」として、24 時間対応の遠隔監視サービスと SaaS 型スマートデバイス管理サービスを新たに提供開始

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、このたび、統合システム運用管理「JP1」において、IT システム運用のさらなる自動化を実現するなど、運用管理の負担を軽減する「JP1 Version 10」を製品化するとともに、「JP1」の技術、ノウハウを応用した「JP1 サービス」を新たに開発し、10月16日から販売開始します。

具体的には、日立グループの運用ノウハウに基づいて IT システムの運用自動化を実現する「JP1/Automatic Operation」をはじめとするソフトウェア群のほか、遠隔でシステムを 24 時間監視する「JP1 システム監視サービス」と、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスの管理に必要な機能を SaaS(Software as a Service)型で提供する「JP1 スマートデバイス管理サービス」を新たにラインアップへ追加し、サーバなどの仮想化の進展やスマートデバイスの利用拡大に伴い複雑化する IT システムの運用管理負担を軽減します。

近年、企業などの IT システムにおいては、クラウドコンピューティング(以下、クラウド)や、効率的な IT 投資を実現する仮想化技術の活用が進展するとともに、スマートデバイスの企業内利用が急速に拡大しています。こうした新たな技術の進展と普及に伴って IT システムは複雑化しており、適正な運用の実現や、運用管理業務の容易化、負担の軽減などが課題となっています。

日立は、このたび、複雑化する IT システムの運用管理の効率化・容易化に向けて、従来提供している業務の自動化に加えて、情報システム部門の運用管理者が行う IT システムの運用作業を自動化する IT 運用自動化基盤「JP1/Automatic Operation」をはじめとする新製品「JP1 Version 10」を提供します。「JP1/Automatic Operation」は、日立グループがクラウドサービスやデータセンターのビジネスで培ってきた IT システムの運用ノウハウをもとに、容易にシステム運用を自動化できる製品です。さらに、「JP1」を活用した新サービス「JP1 サービス」として、お客様の IT システムの監視業務を代行し、24 時間遠隔で監視を行う「JP1 システム監視サービス」と、企業などにおけるスマートデバイスの利用に不可欠な資産管理やセキュリティ管理に必要な機能を SaaS 型で提供する「JP1 スマートデバイス管理サービス」を開発し、IT システムの運用管理における負担を軽減します。

日立は、今後も IT システムの変化に伴って発生する運用管理の課題を解決するべく、「JP1」をはじめとする IT プラットフォーム製品およびサービスの開発を推進し、高信頼かつ高効率な IT システムの運用管理を支援します。

■「JP1 Version 10」の主な概要

1. 複雑化する IT システムの運用を自動化し、運用負担を軽減

サーバなどの仮想化の利用拡大に伴って複雑化している IT システムの運用負担を軽減するため、従来は運用手順書に従って運用管理者が手作業で行ってきた運用作業を自動化する IT 運用自動化基盤「JP1/Automatic Operation」を新たに製品化しました。本製品は、従来「JP1」で提供してきた在庫管理や給与計算などの業務システムにおける自動化技術を応用し、仮想サーバの割り当てや障害発生時の対処などの IT システム運用作業を自動化するものです。さらに、日立グループ内のクラウドサービスやデータセンター運用のビジネスで培った IT システムの運用ノウハウを盛り込んだ運用手順のテンプレートを「JP1/Automatic Operation コンテンツセット」として提供することで、日立グループの豊富な運用ノウハウに基づき、容易に IT システム運用を自動化することができます。製品化に先立ち、日立のデータセンターにおいて実際に適用したところ、仮想サーバを新規に作成する際の作業時間を約 60%削減できました。

2. IT システムの管理画面をカスタマイズするニーズに対応

業務手順に合わせた管理画面や、社内で使用している用語を用いた管理画面で運用したいという個別のニーズに対応するため、ジョブ管理とネットワーク管理の管理画面をカスタマイズできる「JP1/Automatic Job Management System 3 - Software Development Kit」および「JP1/Cm2/Network Node Manager i Developer's Toolkit」を新たに製品化しました。

なお、このほか、高速大容量データ転送の基盤製品「JP1/Data Highway」を新たに製品化し、安価なインターネット回線を利用して海外拠点などの遠隔地との間での効率的な大容量データの送受信を可能にします。

■「JP1 サービス」の概要

1. IT システムの安定稼働と最適化をトータルに支援する「JP1 システム監視サービス」

仮想化の利用拡大に伴って複雑化している IT システムにおいて、安定稼働を実現するためには、障害や異常の迅速な検知において高度なスキルが求められることから、日立は、「JP1」で培った監視、運用の技術や、自社およびお客様のシステムにおける運用ノウハウをもとに、お客様のシステムの監視業務を代行し、遠隔で 24 時間監視し、障害や異常の予兆をいち早く検知する「JP1 システム監視サービス」を新たに提供します。

本サービスでは、システム全体における障害の検知、通報に加え、日立の「Cosminexus」、「Groupmax」、「HiRDB」と、「Oracle Database」について、異常の予兆を捉えて通知するほか、障害等への対処策の提示、保守・サポートサービスとの連携による原因究明までをワンストップで提供します。さらに、監視によって蓄積した稼働情報をもとにお客様のシステムを定期的に診断し、障害発生リスクの判定や将来を見越した投資計画の策定を含めて、システムの最適化をトータルに支援します。

2. スマートデバイスの企業内利用を支援する「JP1 スマートデバイス管理サービス」

スマートデバイスの企業などにおける利用が拡大し、企業資産としての端末の管理や情報漏えい対策などが課題となっていることから、日立は、スマートデバイスの適正な管理に必要な端末資産情報の収集・管理、遠隔でのロックおよびワイプ(消去)、ポリシー管理といった基本的な機能を SaaS 型で提供する「JP1 スマートデバイス管理サービス」を新たに開発し、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」の SaaS メニューとして提供します。

本サービスでは、今後のさらなるスマートデバイスの普及と、企業内利用の拡大を見越し、日立の高信頼なクラウド環境上で数万台規模での利用に対応可能な拡張性と操作性を備えることで、信頼性の高い管理を容易に実現可能としています。さらに、PC 資産管理「JP1/IT Desktop Management」と連携させることで、従来の PC 資産管理の延長で PC とスマートデバイスの一元管理を可能とし、多様化する各種端末の管理負担を軽減します。

■本発表に際しての関係各社からのコメント

株式会社アシスト 執行役員 システムソフトウェア事業部長 田畑 哲也

アシストは、統合システム運用管理「JP1 Version 10」の提供開始を心より歓迎いたします。アシストは、1998 年から「JP1」を運用管理分野の主力製品と位置づけ、これまでに 2,000 社を超えるお客様に提供し、品質、機能性、優れたユーザビリティの面で満足していただいております。

今回の最新バージョンの提供により、IT 運用オペレーションの高度化がさらに強化され、お客様の IT 運用管理の改善に大きく寄与できるものと確信しています。アシストは、日立とのパートナーシップをより一層強固なものにし、「JP1」とアシストのソリューションを組み合わせ、お客様へ最適なソリューションを提供して参ります。

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 IT エンジニアリング室室長代行 金子 直裕

伊藤忠テクノソリューションズ(CTC)は、この度の「JP1 Version 10」の発表を歓迎いたします。

CTC は、250 名の「JP1」認定資格者を有しており、販売および構築・保守運用サービス開始以降、様々な実績に基づく知識や経験に基づき、お客様に最適な IT システム運用管理ソリューションを提供してまいりました。今回発表された「JP1 Version 10」より新たに追加された「JP1/Automatic Operation」を導入する事で、従来運用担当者が手順書に従って行ってきた処理を、あらかじめ設定することでシステム運用を自動化することが出来るため、お客様環境における IT システム運用管理に対する負担を軽減できるものと確信しております。

**株式会社 NTT データ 基盤システム事業本部 システム方式技術ビジネスユニット
ビジネスユニット長 吉岡 誠**

NTT データは、このたびの日立の「JP1 Version 10」のリリースについて心より歓迎いたします。弊社では、従来より弊社の基盤構築ソリューション「PRORIZE(プロライズ)」に日立の「JP1」を標準採用し、構築方法論、利用技術などの観点で検証、共通化、整備してきております。クラウド等の普及によって運用の効率化のニーズが一層高まってきている中、今回のリリースによる IT 運用自動化機能の強化には大変期待をしております。

今後一層、日立の「JP1」とともに、システム基盤強化に向け注力し、お客様の業務の効率化に多大なる貢献ができるものと確信しております。

**日本オラクル株式会社 執行役員 ソフトウェアライセンス事業 製品事業統括
製品戦略統括本部長 山本 恭典**

日本オラクルは、日立製作所の「JP1 Version 10」の発表を歓迎します。

オラクルは「Oracle Exadata」をはじめ、「Oracle Exalytics In-Memory Machine」や「Oracle Exalogic Elastic Cloud」などのエンジニアド・システムズを推進しており、日立と共同で「JP1」と「Oracle Exadata」を組み合わせたシステムや、システム管理製品「Oracle Enterprise Manager」との連携を検証してきました。

これまで両社が蓄積したノウハウに加えて「JP1 システム監視サービス」が提供されることで、お客様へ信頼性の高いデータベース・システムをご提供できるものと確信しております。

SAP ジャパン株式会社 バイスプレジデント パートナー本部 本部長 佐藤 知成

SAP ジャパンは、日立の「JP1 スマートデバイス管理サービス」の提供開始を歓迎します。

両社はモバイル・デバイス・マネジメント市場において協業し、企業でのスマートデバイスの大量活用時代に向けて、大規模環境での高信頼性を備えた MDM サービスの開発に共同で取り組んできました。その成果物である本サービスをご活用いただくことにより、スマートデバイスの積極活用によるビジネススタイルの変革や業務効率の向上に貢献できるものと確信しております。

■「JP1 Version 10」の価格と出荷時期

製品名	概要	価格	出荷時期
オートメーション			
JP1/Automatic Operation	【JP1/Automatic Operation】 IT 運用の自動化を実現する基盤製品	945,000 円～ (税抜 900,000 円～)	10 月 31 日
	【JP1/Automatic Operation コンテンツセット】 日立の運用ノウハウを盛り込んだ IT 運用自動化 コンテンツのセット	945,000 円*1 (税抜 900,000 円)	
JP1/Automatic Job Management System 3 – Software Development Kit	ニーズに合わせてジョブ管理製品の管理画面を 開発できる SDK(Software Development Kit)製品	84,000 円 (税抜 80,000 円)	
JP1/Data Highway	【JP1/Data Highway – Server】 高速で大容量データ転送を実現する基盤製品 (データ送受信管理サーバ)	3,465,000 円～ (税抜 3,300,000 円～)	
	【JP1/Data Highway – Automatic Job Executor】 高速で大容量データ転送を実現する基盤製品 (データ送受信クライアント)	420,000 円 (税抜 400,000 円～)	
ファウンデーション			
JP1/Cm2/Network Node Manager i Developer's Toolkit	ニーズに合わせてネットワーク管理製品の管理 画面を開発できる SDK(Software Development Kit)製品	1,680,000 円 (税抜 1,600,000 円)	10 月 31 日

*1 「JP1/Automatic Operation コンテンツセット」は、26,250 円/月(税抜 25,000 円/月)で利用できるライセンス提供も行います。

■「JP1 サービス」の価格と提供時期

製品名	概要	価格	提供時期
JP1 システム監視サービス	お客様システムを 24 時間監視し、トータルに安定 稼働を実現する監視サービス	個別見積	10 月 31 日
	Oracle Database 予兆検知オプション	個別見積	12 月 28 日
	定期診断オプション	個別見積	
JP1 スマートデバイス管理 サービス	大規模環境でも安心して使える SaaS 型の スマートデバイス管理サービスの基本サービス	315 円/月・台～ (税抜 300 円/月・台～)	10 月 31 日
	代行操作オプション(夜間・休日・緊急時における スマートデバイスのロック/ワイプ操作代行)	315 円/月・台～ (税抜 300 円/月・台～)	

■他社商標注記

- ・Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■統合システム運用管理「JP1」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/jp1/>

■「Hitachi Platform Solutions World」出展について

日立は、11月9日(金)に東京ミッドタウンにおいて開催する「Hitachi Platform Solutions World」において、「JP1 Version 10」および「JP1サービス」を紹介します。

セミナーサイト:<http://www.hitachi.co.jp/soft/psw/>

■取り扱い事業部・照会先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 ITプラットフォーム事業本部 開発統括本部

IT マネジメントソリューション開発部 [担当:立原]

〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地

電話:050-3139-8502(直通)

日立オープンミドルウェア問い合わせセンターホームページ:<http://www.hitachi.co.jp/soft-inq/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
